

風水害

風水害には、洪水や土砂災害などがあります。大雨や長雨により起こります。危険性や現象などを知っておきましょう。

確認しよう！

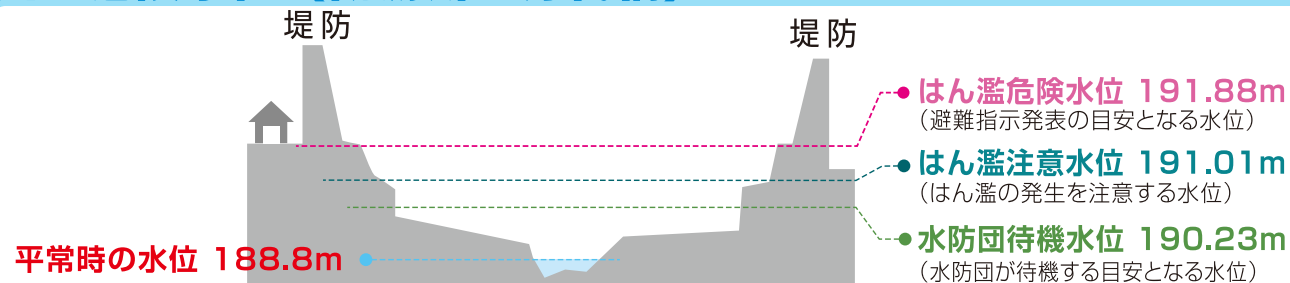
気象庁から発表される情報

警戒レベル	気象庁から発表される警戒レベル相当情報(例)	状況	取るべき行動
5	○大雨特別警報	災害発生又は切迫	命を守る行動
警戒レベル4までに必ず避難すること			
4	○高潮特別警報 ○高潮警報 ○土砂災害警戒情報 ○洪水警報の危険度分布(非常に危険)	災害のおそれ高い	全員避難
3	○大雨警報 ○洪水警報 ○高潮注意報(警報に切り替える可能性が高いもの) ○洪水警報の危険度分布(警戒)	災害のおそれあり	高齢者等避難
2	○大雨注意報 ○洪水注意報 ○高潮注意報(警報に切り替える可能性の低いもの)	気象状況悪化	避難行動を確認
1	○洪水警報の危険度分布(注意)	今後気象状況悪化のおそれ	早期注意情報

風水害の危険を表す気象用語

雨	やや強い雨 1時間に10～20mm ザーザーと降る。	強い雨 1時間に20～30mm どしゃ降り。	激しい雨 1時間に30～50mm バケツをひっくり返したように降る。	非常に激しい雨 1時間に50～80mm 滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)。	猛烈な雨 1時間に80mm以上 息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。
風	やや強い風 10～15 m/秒 風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。	強い風 15～20 m/秒 転倒する人も出る。看板やトタン板が外れ始める。高所での作業は極めて危険。	非常に強い風 20～25 m/秒 つかまっていけないと立ってられない。飛来物で負傷するおそれがある。	猛烈な風 25～30 m/秒 屋外での行動は極めて危険。	猛烈な風 30 m/秒以上

川の危険水位(観測所: 万代橋)



Useful information
お役立ち情報

河川の水位の時間変化が国土交通省 川の防災情報ホームページで確認できます。

右のQRコードから、然別川の情報が見られます。



洪水の種類

種類	外水はん濫	内水はん濫	その他のはん濫
洪水の状況	大雨などにより、川の水がいっぱいになってあふれ出す。 	川の水位の上昇や大雨などにより、住宅地などの排水が困難となり浸水する。 	側溝などのゴミがつまり、道路など低い場所に水がたまる。

備えよう！

天候の変化に注意し、雨・風の対策を

天候の急変に注意

真っ黒い雲の接近、雷の音や光、冷風などがサイン。



点検・補強

屋根、塀などの点検・補強をしましょう。



室内に収納

風でとばされそうなものは室内や物置へ移動しましょう。



ガラスの飛散防止

窓が割れないようにフィルムを貼りましょう。



いざというとき！

避難前の注意点

最新情報の入手

気象情報や町からの最新情報を入手する。



非常持出品の点検

非常持出品を点検し、すぐに持ち出せる準備をする。



避難所の確認

安全に避難所まで避難できるルートを確認する。



避難前のチェック

避難前にはガスの元栓を締め、ブレーカーを落とし、水道の元栓は閉める。



避難するときの注意点

早めの避難

警報などが発表されなくても、危険を感じたら早めに避難する。



避難は徒歩で

避難は複数人で、基本は徒歩で行う。



長靴で避難しない

長靴は水が入ると歩きにくくなります。長靴での避難は避け、履きなれた靴で。



避難が困難なときは

無理に避難するよりも2階など高いところにとどまる方が安全な場合もあります。状況に応じて適切に判断しましょう。

自宅で待機するときは

- 外に出ない
- 窓の補強
- 高い所へ避難



冠水している場所に入らない

側溝や水路に注意し、浸水した道路は通らない。



できるだけ2人以上で避難

子どもはロープなどでつなぎ、はぐれないように注意する。



解除されるまで警戒

警報や注意報が解除されるまで、警戒を続ける。

